

車上作動処理実施責任者の皆さまへ

エアバッグ類の車上作動処理時の 適正作業の再徹底をお願いします!!

— 多段式エアバッグの処理漏れ・事故防止 —

平素はエアバッグ類の適正処理にご尽力いただき、ありがとうございます。

先日、「多段式エアバッグ」の一方のインフレーター^{*}のみを通電・作動したため、数分後、再度エアバッグが展開するという事案が発生しました。

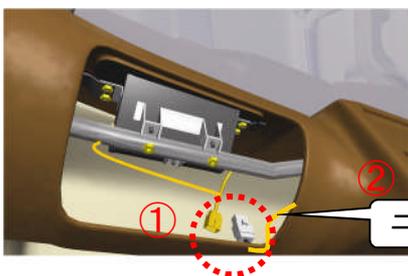
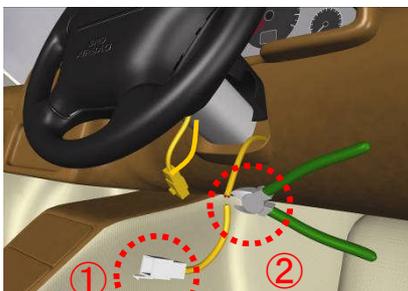
発生した事業者においては、大きな事故には至りませんでした。皆さまにおかれましても以下の適正・安全作業の内容を再度ご確認ください、あらためて徹底いただきますようお願いいたします。

※ 「多段式エアバッグ」は、衝突時の衝撃に応じてエアバッグ膨張力を自動調整するため、インフレーター内部が2室に分割されており、分割されたそれぞれにハーネスが接続されています。(主に運転席、助手席に装備)

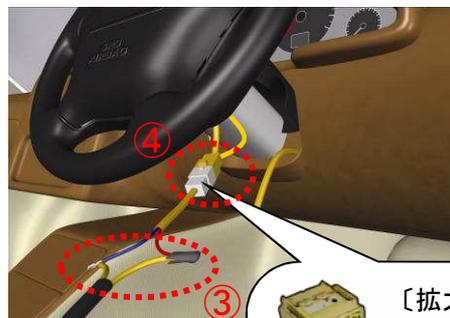
個別作動処理時の適切な作業方法

〔適正処理情報 共通情報
「電気式エアバッグ類の個別作動」参照〕

- ① 内装パネルを外してエアバッグ類の配線を取り出し、**コネクターを外す。**
- ② **車台側のハーネスをニッパー等で切断し、15mm程度被服を剥がす。**
- ③ 切り離れた車台側のハーネスにバッテリーケーブルを接続する。
- ④ モジュール側コネクターに接続する。



ニッパーで切断



バッテリーへ

〔拡大図〕



車台側ハーネスは4本を2組に分け、バッテリーケーブルを接続してください。

※ 作動しない場合は4本のハーネスの組み合わせを変更して再度実施してください。

一括作動システム対応車両については、上記作業を伴わない「一括作動処理ツール」の使用を推奨します。

万一、事故等が発生した場合は、現場を保存(写真等による保存でも可能)の上、速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください

自動車再資源化協力機構 (業務部)

TEL: 03-5405-6155 / E-mail: info@jarp.org